

東北支所開設記念シンポジウム in 仙台 2008

2008年7月5日（土）午後1時から午後5時まで、仙台弁護士会館4階大会議室にて、日本知的財産仲裁センター東北支所主催、東北弁連・仙台弁護士会・日本弁理士会東北支部・弁護士知財ネットの共催により、また、経済産業省東北経済産業局等多くのご後援を得て「東北支所開設記念シンポジウム」を行いました。（シンポジウムの[パンフレット PDF ファイル](#)をご覧ください）

前半では、日本知的財産仲裁センターから、センターの組織・手続についてご紹介した後、弁護士・弁理士が役に扮して模擬調停「シミュレーション知財ADR」を行いました。

* 模擬調停・登場人物名（キャスト）紹介

【申立人】八木山工業（悪路脱出具「スノーおっぱっぴー」を製造販売）

開発担当者 小沢二郎（弁護士 宇都 彰浩）

弁護士 鳩山由紀子：仙台に事務所を構える弁護士（弁護士 須田 晶子）

弁理士 菅 直樹：仙台に事務所を構える弁理士（弁理士 松枝 浩一郎）

【相手方】中央オート（悪路脱出具「悪路からも楽ちんゲー」を製造・販売）

法務部長 福田康郎：中央オートの法務部部长（弁護士 石田 憲司）

弁護士 小泉純二郎：中央オートの顧問弁護士（弁護士 上林 佑）

弁理士 安部晋二：特許に精通する弁理士（弁理士 佐藤 祐介）

【調停人】 調停人1（弁護士） 小浜 （弁護士 我妻 崇）

調停人2（弁理士） 平木 （弁理士 須田 篤）

実際の事例を基に、面白くかつ分かりやすいシナリオで調停手続を紹介し、参加者からは大変好評でした。

また、後半では、「東北の知的財産権の保護充実と仲裁センターの役割」と題し、広く東北地域における知的財産権の実情・課題についてパネルディスカッションを行いました（出演パネリストは[パンフレット PDF ファイル](#)をご覧ください）。

東北地方における弁護士・弁理士をはじめ、一般の方にも多数参加していただき、盛会のうちに終了いたしました。

